

8202 ある人はベルンの町を指して、・・・

ある人はベルンの町を指して、泥臭い暗い野暮な町だという。ある人は、中世をそのままのこす欧州一の愛らしい町だと過度にほめる。それぞれの見方は多様でも、スイス・アルプスを愛する者にとって、ベルンはたったひとつのことを意味する。すなわち、正真正銘のスイス・アルプスの玄関口。足はそこで舗道を踏みつつもはや岩や尾根を感じはじめる。耳は町の騒音の底に岩ツバメの声を聞き、心はとうに山中にある・・・・・・・・

犬養道子『ベルン・水そして山』

(注)「ベルン」 Bern 「岩ツバメ」 martin

[許容訳例]

Some people call Bern unrefined, gloomy, and tasteless town. Some praise it too much, saying it is the loveliest town in Europe, one where the Middle Age remain intact. Though different people have different views, Bern means only one thing to lovers of the Swiss Alps: the genuine entrance to the Swiss Alps. Treading the pavement there, they already began to feel their rocks and ridges. They hear the chirping of martins beneath the noises of the town, and their hearts are long since in the mountains.

[翻訳例]

Some people refer to the town of Bern as a provincial, depressing, inelegant kind of place. Others overpraise it, saying that it is the town that preserves the Middle Ages intact, the loveliest in Europe. Different people have different views, yet to lovers of the mountains Bern means only one thing: the genuine, unmistakable gateway to the Swiss Alps. Their feet as they tread its pavements already feel beneath them the rocks and ridges. Below the clamor of the town their ears hear the chirping of the martins, and their hearts are long since up among the peaks.

■ある人はベルンの町を指して、泥臭い暗い野暮な町だという。(8202)

★「ある人は・・・, (ある人は・・・)」は some people..., some...でもよいし, some people..., others...でもいいです。

★「ベルンの町」は the town of Bern ですが, Bern だけでもいいと思います。

★「Aを指してBだという」という日本語に一番近いのは refer A as B ですが, describe A as B; call A B でもいいでしょう。

★「泥臭い」は unrefined とか, provincial とか countryfied[countrified]でいいでしょう。

★「暗い」は難しい。dark は「光の量が少ない」ことです。ここではそういう意味ではなく「見た感じが暗い」とか「何となく雰囲気暗い」という意味と思われるので depressing がよいと思います。この単語は depressing book[man; town; atmosphere]のように幅広く使われます。これに近い言葉として gloomy もあります。

★「野暮な」も難しい。この言葉は普通「人」に使うものなので、辞書には awkward とか

boorish; uncouth などが出ています。『ジーニアス和英辞典』を引いたら inelegant が出ていました。これなら inelegant kind of place という使い方が出来ます。tasteless も考えられますが、厳密に言うと、「それを作った人の態度」とか「それを作り上げた結果」についていう言葉です。たとえば、tasteless furnishing は「(装飾した人の感覚が) 洗練されていない [(した結果が) 野暮ったい] 室内装飾」ということになります。(Bern の) 町は誰かが設計して造ったものではないので、tasteless は好ましくありません。なお、「野暮な」は日本語で言い換えると「センスがない」ということでもありますが、そのつもりで senseless は使えません。senseless は「馬鹿な」、つまり、foolish の意味になりますから、たとえば、senseless act というのは foolish act あるいは inconsiderate act と同じで「意味のない行動」ということになります。また、斉藤の『和英辞典』の「野暮」には rustic も出ていますが、これは、どちらかというといい意味で使うことが多く、たとえば、rustic retreat という、都会は騒々しいので、たまに田舎に行ってくつろぐために作った別荘のことをいいます。

■ある人は、中世をそのままのこす欧州一の愛らしい町だと過度にほめる。(8202)

★「中世をそのまま残す」は the Middle Ages remain intact とか preserves the Middle Age intact です。なお remain の代わりに leave は使えません。leave something intact という、「そのままにしてどこかへ行ってしまう」という意味が入ります。ですから Time has left the Middle Ages intact. という使い方なら出来ます。time は動いているものですから。

★「愛らしい」は lovely が一番いいと思います。

●「連体修飾節+不定代名詞的体言」(中世をそのままのこす欧州一愛らしい町)

「中世をそのままのこす欧州一の愛らしい町」は「連体修飾節(中世をそのままのこす)+体言((欧州一の愛らしい)町)」ですから、英語では「名詞(town)+関係詞節(where.../that...)」で処理するのですが、「欧州一の愛らしい」が付加されているので工夫が必要です。たとえば、the loveliest town in Europe where the Middle Ages remain intact とすると、「中世をそのままのこしている欧州の町の中で一番愛らしい町」となってしまいます。ここで言いたいのは「中世をそのままのこしていて、(同時に) 欧州一の愛らしい町」という意味ですから、the town where the Middle Age remain intact, the loveliest in Europe とか、the town that preserves the Middle Age intact, the loveliest in Europe とすると、日本語と同じ順序ですし、二つの意味を重なることなく併存させることができます。

★「・・・な町だと・・・」は saying (that) it is...です。

★「過度に褒める」は overpraise it ですが、praise it too much; admire it too much も使えます。

■それぞれの見方は多様でも、スイス・アルプスを愛する者にとって、ベルンはたったひとつのことを意味する。すなわち、正真正銘のスイス・アルプスの玄関口。(8202)

★「それぞれの見方は多様」は different people have different view です。辞書で「見方」を引くと a view; a point of view; a viewpoint が出てきますが、ここで言っているのは viewpoint ではなく、その町に対する opinion、つまり view です。

● [でも] though より yet

「それぞれの見方は多様」は、至極もつともなことなので、[でも] を though にして「了解要請」として節を前に出すこともできますが、情報の比重が下がってしまいます。ここは though のような意味のない言葉で始めるより、日本語と同様に意味のある言葉で始めた方が英語としてもいいと思われます、つまり Different people have different views, yet…とするわけです。前にも書きましたが、これはどうでもいいことのようにですが、自然な英語にするためには非常に大切なことです。

★「スイス・アルプスを愛する者にとって」は to the lovers of Swiss Alps ですが、すぐ後にまた「正真正銘のスイス・アルプスの玄関口」と出てくるので、ここは to the lovers of the mountains としてもいいと思います。なお、これも日本語と同じように先頭に出した方がいいでしょう。

★「ベルンはたったひとつのことを意味する」は Bern means only one thing でしょう。

★「すなわち」はコロンを使います。

★「正真正銘のスイス・アルプスの玄関口」は the genuine gateway[entrance] to the Swiss Alps ですが、この書き方には、「スイス・アルプスの玄関口と考えられるところは他にもあるかもしれないけれど、ベルンこそまさにそうなんだ」という勢いが感じられます。genuine だけでは物足りないのので the genuine, unmistakable gateway[entrance] to the Swiss Alps としたいです。なお、「玄関口」は、ここでは entrance より gateway の方がいいです。

■足はそこで舗道を踏みつつもはや岩や尾根を感じはじめる。(8202)

★「そこで舗道(を踏み)」の「そこで」は there でもいいですが、「その町の」の意味を含んでいるように感じられますので its pavements の方がいいと思います。

★「(そこで舗道を) 踏み」は tread its pavements です。後に pavement が続くので tread on…としかねませんが、これは誰かの足を間違えて踏んだ場合とか、虫などを意識的に踏む場合などに使うものです。step on も同じです。「虫を踏んづける」は step on(=step up onto) an insect です。なお、step onto the pavement と言うと、道路より一段高くなっている歩道に上がることになります。

● [つつ(も)] (暫時同時)

[つつ] は「暫時同時」で、よく使われるのは as か分詞構文です。したがって、「足はそこで舗道を踏みつつも・・・」は Treading…でもいいのですが、日本語と同じように「足は・・・」を一番前に持ってきて The feet as they tread its pavement already…とする方が効果的であり、英語としても自然で文学的だと思います。なお、この「足はそこで舗道を踏みつつもはや・・・」は「足はそこで舗道を踏みつつ+もはや・・・」ではなく「足はそこで舗道を踏みつつも+はや・・・」です。

★「岩や尾根」は rocks and ridges です。

★「感じはじめる」は、そのまま対応すると begin to feel ですが、feel だけでも伝わるし、この方が文学的です。ただ、feel rocks and ridges とすると、I can feel some money。(触っ

てみるとどうもお金が入っているようだ)と同じで、「変だなあ、触ってみると中に rocks and ridges が入っているようだ」という意味になるので、feel beneath them(=feet) their rocks and ridges としたいです。

■耳は町の騒音の底に岩ツバメの声を聞き、心はとうに山中にある(8202)

★「町の騒音の底に」は bellow[beneath] the noises of the town です。noises…(…の無数の騒音)だけでも文法的には可能ですが、定冠詞を付けて the noises…として「例の(常に町に付随する)騒音」とします。なお、もう少し詩的な言い方をするなら the clamor of the town です。

★「岩ツバメの声を聞き」は they hear the chirping of martins でもいいですが、「耳は…心は…」となっているので their ears…and their hearts…とした方がいいでしょう。なお、細かい連続的な鳴き方なら chirping ですが、一回一回するどく鳴くような鳴き方なら cry でしょう。確か岩ツバメは「グジュグジュ」というような鳴き声だったと思います。

★「心はとうに山中にある」の「とうに」は for a long time ですが、英語には long since…という表現があります。これはかなり文学的で普通はあまり使わないのですが、この場合にはぴったりだと思われます。それで their hearts are long since in the mountains となりますが、ここはアルプスという高い山の話なので long since up among the peaks としたいと思います。

●「連用形+…」(耳は…を聞き、心は…にある)

「耳は岩ツバメの声を聞き、心はとうに山中にある」は二つの{単位情報}が連用形で「…し、…である」と「同時」関係で結ばれています。これは A and B の形にしてよい典型的な例です。